第3回　上向台小学校 学校運営協議会 議事録（要点記録）

1　開催日時

令和8年9月30日（水） 14:15～15:45

2　開催場所

上向台小学校　図書室

3　出席者

酒見校長、遠藤会長、石川委員、鵜澤委員、門田委員、紺野委員、酒井委員、村田委員、矢島委員、吉田委員

佐藤副校長、金子主幹教諭、秋本主任教諭、花俣主任教諭、森川主任教諭

欠席者

なし

※委員10名中10名出席により、本会議は成立

4　次第

（1）会長挨拶

（2）全国学力・学習状況調査（児童質問調査）の結果について

（3）令和8年度 前期学校評価の結果について

（4）意見交換

（5）事務連絡

（2）全国学力・学習状況調査（児童質問調査）の結果について

■ 学校側からの説明

6年生を対象に実施した児童質問調査の結果について、全国・東京都との比較で本校の特徴が表れた項目を中心に説明がなされた（国語・算数の結果は次回報告予定）。

・成果：ICT機器の活用が非常に多く、表現にも生かされている。教員が良いところを認めてくれる、違う意見を言っても否定されないなど、教員との信頼関係や安心して意見を言える学級風土が育っている。

・課題：将来の夢や目標をもつ児童が少ない。算数・英語への苦手意識、困りごとを相談できる環境、家庭での読書習慣、地域や社会への貢献意識に課題が見られる。

・成果は維持しつつ、課題については次年度の教育課程編成で工夫を検討していく。委員からもアイデアをいただきたい。

（3）令和8年度 前期学校評価の結果について

■ 学校側からの説明

7月に実施した児童・保護者アンケートの結果について、項目ごとに説明がなされた。全項目で児童・保護者とも概ね高い肯定的評価であった。主な内容は以下の通り。

・自立した学習者の育成：自分で学び方を選び考えて学習を進める姿が見られる。苦手意識のある児童への個別支援、質問しやすい雰囲気づくりを続ける。

・授業改善（パフォーマンス課題）：単元の最初にゴールを示す授業を推進。保護者からはねらいが伝わりにくいとの声があり、発信を工夫する。

・一人1台タブレット端末：活用が進み、個に応じた学びが展開できている。家庭での使用に関する意見もあるため、家庭におけるGIGA家庭ルールの見直し等を再周知。

・教科担任制：現在、高学年と3年生で実施し、高い評価を得ている。低学年の保護者にも様子が伝わるよう発信していく。

・チーム担任制（校長より説明）：担任が一人で抱え込まず組織的に対応できるよう、3年生で10月から試行する。教科担任制に加え、担任も週ごとに交代する形を想定。結果は改めて報告する。

・体育・体力向上：外部講師によるソフトボール体験教室、元オリンピック選手によるボール投げ教室、「夢の教室」（日本サッカー協会・日本財団）を実施。夢や目標をもつきっかけにもなった。予算がつけば来年度も継続したい。苦手な子への丁寧な指導にも努める。

・子どもの話を受け止める教育・学年チームによる支援・いじめ防止：年4回のアンケートを全件確認し個別に対応するなど、取り組みを継続する。

・地域での活動・交流：一部の児童は地域との関わりの実感が薄いため、活動前のめあてや振り返りを丁寧に行う。土曜授業において実施した6年生の地域防災訓練（水道局・避難所運営協議会・おやじの会等の協力）も実施し、保護者からも好評だった。

・異学年交流：今年度から遊びに加え、開校当初実施されていた「フレンド班清掃」を導入。活動の様子をホームページ等で発信する。

・社会に開かれた教育課程：地域の方々の協力で本物に触れる学びができている。1年生はモルモット飼育に取り組む予定。

・情報発信：行事や予定を早く知りたい、学校の様子を写真で伝えてほしいとの意見があり、迅速で分かりやすい発信に努める。

（4）意見交換（委員からの主な意見・質疑応答）

【意見】

・保護者に「ねらいが見えにくい」という声があったが、示さなくてはいけない大きな目標に加えて、保護者にも分かりやすい説明を合わせて示すと伝わりやすいのではないか。

・先生方が、伸びる子とつまずいている子の両方に目を向けていることがよく分かった。一方、子どもは体験しているので肯定的だが、保護者にはなかなか伝わっていない。情報伝達が改善点だと思う。オリンピアンなどによる体験活動はとてもよい取組なので、来年度もぜひ続けてほしい。

・これからの子どもたちには体力づくりが大切。遊び場が少なく、校庭も雨の後長く使えない状況がある。できない子ほど頑張っているので、できた時にはしっかり褒めてほしい。また、夜間の災害時などに備え、地域の協力を得られる体制も大切。

・資料がとても見やすく分かりやすい。児童館では友達と宿題をする姿や、面談後に家で宿題を済ませてから来る子も見られた。一方で、物語の本を読む子が減り、すぐに結果が出る遊びやショート動画を好む傾向が気になる。

・地域でタコ公園の清掃や、消防署と連携した防災訓練・餅つきなどを予定している。小学生にも関わってもらえると、地域とのつながりが深まると思う。

・学校の取組を保護者があまり知らないことが課題。保護者が知ることで、一緒に関われることも増えるとよい。将来の夢・目標の課題を受け、おやじの会として職業紹介などで協力できればと思う。

→ 6年生のキャリア学習でぜひお願いしたい。

・熱中症対策のネッククーラーが下校時には冷たくなくなっているので、学校で冷やせないかという声がある。

→ 市の予算化は難しいと思われるが、PTAや寄付、数年かけてそろえるなどの工夫も考えられる。

・教育委員会への要望は、気温や体調不良者数など具体的なデータを示すと通りやすいと聞いた。来年度へ引き継ぎたい。読書習慣は家庭でも悩んでいる。チーム担任制も期待している。実践後の様子もぜひ教えてほしい。

・子どもたちは、どれが地域との関わりで、どれが学校行事なのか区別できていない。子どもたちにとっては、地域のボランティアも先生と思われていることがある。「今日は地域の人が来てくれた」と日頃から伝えてもらえるとよい。田無第一中学校でもボランティア意欲の低さが課題として挙がっていたため、小学校から地域と一緒に活動する機会を増やしたい。

・チーム担任制は、担任の負担軽減や他クラスへの理解につながる良い取組。一方で、教員の負担や心のバランスには注意して進めてほしい。

・読書をしないことで文章の理解力が下がることは中学校でも課題であり、小さいうちから本に触れる習慣を身に付けてほしい。

【質疑・応答】

・学校では図書室の利用はどうか。

→ 図書室に来る機会をできるだけつくっており、雨の日などはいつも賑やかである。

・チーム担任制は本校独自の取り組みか。

→ 本校では初めて。他自治体では成果があると聞いており、働き方改革の面でも期待している。

・オンライン授業を一度見てみたい。また、行事だけでなく、何時間授業で何時に下校するかを早めに知りたい。

→ 日程は変更の可能性もあるが、早めの周知を検討したい。オンライン授業は、課題を示して各自で取り組み、提出・集合する形式を考えている。低学年の実施方法は検討が必要。

・チーム担任制では、保護者が誰に相談すればよいか迷うのではないか。

→ 基本は現担任とやり取りする想定だが、話しやすい先生に相談してもらってよい。保護者向けのお知らせにもQ&Aを掲載している。

・特別な支援が必要な児童の成長の様子はどうか。

→ 支援が必要な児童は、保護者の意向に応じて在籍の形はさまざまだが、それぞれ成長している。

（5）事務連絡

体育発表会について

日時：令和8年10月24日（土） 8:50開会式～11:30閉会式

後日御案内をお送りするので、ぜひ御来校いただきたい。